

【PLAN】

総合戦略掲載	○	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

【DO】

(単位：円)

		第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 合計
		第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額			0				0					0	
		予算計上額		45,739,000		45,739,000				0				0	45,739,000
		実績額		47,657,000		47,657,000				0				0	47,657,000
	道費	計画額			0				0					0	
		予算計上額			0				0					0	
		実績額			0				0					0	
	地方債	計画額		251,200,000	654,400,000	905,600,000	1,008,900,000		1,008,900,000					0	1,914,500,000
		予算計上額		281,100,000	5,900,000	287,000,000	1,008,900,000		1,008,900,000					0	1,295,900,000
		実績額		245,600,000	10,900,000	256,500,000	1,011,200,000		1,011,200,000					0	1,267,700,000
	その他	計画額	2,184,000			2,184,000				0				0	2,184,000
		予算計上額	2,184,000			2,184,000				0				0	2,184,000
		実績額	1,582,000			1,582,000				0				0	1,582,000
	一般財源	計画額	24,628,000	26,719,000	296,000	51,643,000	29,173,000		29,173,000					0	80,816,000
		予算計上額	24,628,000	628,000	218,000	25,474,000	29,173,000		29,173,000					0	54,647,000
		実績額	22,665,720	367,101	470,483	23,503,304	27,690,583		27,690,583					0	51,193,880
	事業費合計	計画額	26,812,000	277,919,000	654,696,000	959,427,000	1,038,073,000	0	0	1,038,073,000	0	0	0	0	1,997,500,000
		予算計上額	26,812,000	327,467,000	6,118,000	360,397,000	1,038,073,000	0	0	1,038,073,000	0	0	0	0	1,398,470,000
		実績額	24,247,720	293,624,101	11,370,483	329,242,304	1,038,890,583	0	0	1,038,890,583	0	0	0	0	1,368,132,880
	事業費予算の内容		委託料26,587千円 その他225千円	委託料31,885千円 工事請負費164,120千円 土地取得費131,262千円 その他200千円	委託料5,940千円 その他178千円		委託料8,349千円 工事請負費1,027,582千円 その他2,142千円								
	前年度予算との比較 (増減理由)		前年度は比較的大きな工事を行ったが、本年度は関連する工事を行わないことによる減。	施設の基本的方向性が固まったことで土地開発基金から用地を再取得したこと、基本設計の段階から実施設計、解体工事の段階に入ったことによる増。	前年度は、大規模工事や用地取得に伴い事業費が大きかったが、本年度はバリアフリーの更なる向上を図る追加設計のみを行うことによる減。		R6.1～より建設工事を行うことによる増。								
実績との比較 (増減理由)		入札差金等による事業費の減	入札差金等による事業費の減	R5年度中に、用地取得及び工事着工したことによる事業費の増 R5.9月補正 R5.12月補正		R6年度中に、土地交換測量調査委託を実施したこと及びR5年度支出予定額をR6年度へ通次継続したことによる事業費増 ・R6.6月補正									

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）			指標名：計画、設計図書等の策定、解体・建設工事				指標の求め方：基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、解体工事、建設工事の実施											
成果指標 1（「成果」をもとに設定）			指標名：砂川駅前地区施設前の歩行者通行数				指標の求め方：10月下旬～11月中旬で設定する平日 1 日に、砂川駅前地区の歩道西側において朝2h、昼過ぎ2h、夜2hの歩行者数をカウントする											
					第 1 次実施 3 カ年計画				第 2 次実施 3 カ年計画				第 3 次実施 4 カ年計画					第 7 期 総合計画
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 カ年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 カ年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/)	計画値	1(基本設計)	2(実施設計、解体工事)	1(建設工事)	1(外構工事)											
		実績値	1	2	2(実施設計、建設工事)	1(建設工事、外構工事)												
	成果指標 1 (単位/人/日)	計画値	—	—	—	—	330	327	324		321	319	316	313				
		実績値	—	—	—	—	—											
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				ほぼ達成されている				ほぼ達成されている								
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている				少し上がっている								
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている				少し上がっている								
		総合評価				良好である				良好である								
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：成果指標である基本設計の策定が予定通りにでき、令和 6 年秋の供用開始に向け順調に事業推進できている。	自己分析：成果指標である実施設計の策定及び解体工事の完了が予定通りに進んだ。施設内の更なるバリアフリー化の推進を図るためR5年度に実施設計の追加設計を行うことになったが、令和 7 年 4 月供用開始に向け順調に事業推進できている。	自己分析：当初計画よりも遅れは生じたものの、バリアフリー化の推進を図る追加設計及び建設工事は着工することができ、令和 7 年 4 月供用開始に向け順調に事業推進できている。	判断理由：施設内の更なるバリアフリー化の推進を図るためR5年度に実施設計の追加設計を行うことにより、供用開始が令和 6 年秋から令和 7 年 4 月へ延期となるが、供用開始に向け概ね順調に事業推進できている。	自己分析：当初計画よりも遅れは生じたものの、R6年度に工事竣工することができた。成果指標である歩行者数は、施設供用開始前なので計測していない。	自己分析：	自己分析：	判断理由：当初計画よりも遅れは生じたものの、R6年度に工事竣工することができたことから「良好である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：			
	今後の方向性					現状のまま継続				完了								
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5：賑わい創出に寄与する施設を整備することで中心市街地の活性化を目指す本事業は重要な取組であるため「現状のまま継続」とした。				R8：賑わい創出に寄与する施設を整備し、R6年度末をもって竣工したことから「完了」とした。なお、施設整備後の管理運営については「駅前施設運営事業」へ移すこととする。				R10：								

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	○	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名					駅前施設運営事業	事業期間	令和7年度 ～ 令和 年度											
事業性質区分		新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	4-5-1	他に関連する基本事業	4-2-4	4-4-1	- -		- -		- -		所管課係	商工労働観光課観光係
目的 (何のために実施するのか)		当市の「まちの顔」である中心市街地において、市民ニーズを踏まえて整備された新たな施設・広場を有効活用することで、経済活力向上の観点から中心市街地の活性化に繋げること。							手段 (どのような方法で実現するのか)	施設整備の基本コンセプトである「居場所づくり」「賑わいづくり」「魅力づくり」実現のために、居心地の良さを演出する『caféの設置』『図書スペースの設置』、誘客機能としての『物販の設置』、域内外へ向けた『指定管理者及び地域おこし協力隊による本エリアのPRと、各団体・事業者によるイベントの実施』を行う。								
対象 (誰・何を対象としているのか)		本事業における訴求対象は、主に日常性の観点から市民とするが、休日の来訪客の利用(非日常)を波及させる観点から市外から当市を訪れる方も含めている。 なお、本施設・広場の管理対象は、指定管理者(商工会議所・観光協会)としている。							成果 (どのような効果が得られるのか)	持続的な賑わい創出を通じてエリアイメージを向上し、これまで中心市街地を訪れる事が無かった層の来訪に繋げることで、周辺商店街や観光資源への波及性を高め、地域経済の活性化に繋げることができる。								
事業開始時の状況・これまでの経緯																		

【DO】

実績

(単位：円)

				第1次実施3力年計画				第2次実施3力年計画				第3次実施4力年計画					第 7 期 総 合 計 画 計
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3力年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3力年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4力年 合 計	
投入された事業費の推移	国	費	計 画 額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計 画 額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地方債		計 画 額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	その他		計 画 額				0		1,800,000	1,800,000	3,600,000	1,800,000	1,308,000	1,308,000	1,308,000	5,724,000	9,324,000
			予算計上額				0		1,768,000	1,888,000	3,656,000					0	3,656,000
			実 績 額				0		1,837,380		1,837,380					0	1,837,380
	一般財源		計 画 額				0		16,220,000	16,220,000	32,440,000	16,220,000	16,712,000	16,712,000	16,712,000	66,356,000	98,796,000
			予算計上額				0		24,398,000	20,589,000	44,987,000					0	44,987,000
			実 績 額				0		16,182,820		16,182,820					0	16,182,820
	事業費合計		計 画 額	0	0	0	0	0	18,020,000	18,020,000	36,040,000	18,020,000	18,020,000	18,020,000	18,020,000	72,080,000	108,120,000
			予算計上額	0	0	0	0	0	26,166,000	22,477,000	48,643,000	0	0	0	0	0	48,643,000
			実 績 額	0	0	0	0	0	18,020,200	0	18,020,200	0	0	0	0	0	18,020,200
	事業費予算の内容								委託料26,166千円	委託料22,477千円							
	前年度予算との比較 (増減理由)								－	前年度はオープン初年であったことから推計値だったが、初年の維持経費を踏まえ精査したことによる減							
	実績との比較 (増減理由)								委託費中、「人件費」「除排雪費」で当初見込みよりも少ない経費の支出で済んだことによる減								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）			指標名：委託料				指標の求め方：委託料										
成果指標 1（「成果」をもとに設定）			指標名：砂川駅前地区施設前の歩行者通行数				指標の求め方：10月下旬～11月中旬で設定する平日1日に、砂川駅前地区前の歩道西側において朝2h、昼過ぎ2h、夜2hの歩行者数をカウントする										
			第 1 次実施 3 年計画				第 2 次実施 3 年計画				第 3 次実施 4 年計画					第 7 期	
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 年 合 計	総 合 計 画	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値					18,000	18,000		18,000	18,000	18,000	18,000			
			実績値					18,020									
	成果指標 1 (単位/人/日)	計画値						327	324		321	319	316	313			
			実績値						380								
	評価 内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)								達成されている							
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)								上がっている							
		事業の効率性 (事業費に対する成果)								上がっている							
		総合評価								良好である							
			自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	自己分析：	自己分析： 活動指標は、推 計値であった計 画値と、実績額 がほぼ増減が無 かった。 成果指標は、コ ロナ禍前の歩行 者通行量よりも 増加した結果と なり、施設整備 の効果によるも のと考える。	自己分析：	判断理由： 活動指標は計画 値とほぼ等しく、 成果指標の 定量的な目標は 達成されたと考 え、「良好である 」と判断し た。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
		今後の方向性								現状のまま継続							
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5：				R8： R7.4.20付けで砂川市まちなか交流施設すないがオープンし、居心地の良い居場所となる空間を創出することをはじめ、定期的な小イベント等による賑わいづくり、地域の魅力を発信する魅力づくりといったコンセプトに沿って管理運営にあたっている。すないの年間来館者も推計値であるが9万人/年であり、好調なスタートを切ったことから、今後も「現状のまま継続」することが最良と考える。 なお、「現状のまま継続」のニュアンスは、施設コンセプトを踏まえて、居心地の良い空間づくりのためにできることは常に探求し続け、民間事業者や団体が小イベントを実施いただけるよう、実施主体の掘り起こしを継続していくという意味である。				R10：						